平成 1 3 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

基本事務事業名] 広域的な地域づくりの推進事業(101)

評価年月日 平成12年11月10日 *注担当部課名* 地域振興部 地域振興課

記入課名 課長名 電話] 地域振興課 辻村正彰 企画G224-2420

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 :地域づくりの推進(- 5)

施策 :地域振興プロジェクトの推進(1)

総合計画の目標項目 :三重ハイテクプラネット21構想中核的施設の着手率、津松阪地方拠点都市地 区内重点事業の着手率、伊賀地方拠点都市地区内重点事業の着手率

波及効果 副次的効果を及ぼすと考えられる施策 :

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状、将来)

地方分権の進展により地方公共団体には個性的で独創的な地域づくりが求められているところであり、三重のくにづくり宣言においては、このことを9つの生活創造圏づくりとして進めることとしている。

また、国や他県において住民参画型の施策が注目され増加してきており、多様な主体の協働による地域づくりの手法が社会において一般化されつつある現状のなかで、本県においてもその先導的事業として位置づけている生活創造圏ビジョンのさらなる推進とともに、市町村境にとらわれない生活圏域を単位とした広域行政体制の整備や広域連携事業の促進による市町村行政の受け皿づくり、さらには地域づくりを進める住民組織のポテンシャルを高めるため住民組織相互の交流連携強化等を進める必要がある。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 何をどういう状態にしたいのか)

市町村の広域行政体制整備の促進や市町村における先見性ある個性的な事業の促進、生活創造圏ビジョンの多様な主体による協働での推進、さらには地域づくり団体のネットワーク化の促進等により、各生活創造圏における自主的・自立的な地域づくりをその取り組み環境づくりも含めて推進していく。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 総合計画の目標項目には*を付す)

(H12 まで)

成果指標名 広域行政導入度

成果指標式 = 共同処理事務数×(共同処理事務数 / 広域行政組織数)×(構成市町村数 / 広域行政組織数)

変更した場合の成果指標名 成果指標式

(h13~変更)

成果指標名 広域的な地域づくり体制推進度

成果指標式

= (当該年度の生活創造圏ビジョンの取組への参画者数 / H12年度の同取組への参画者数)×(当該年度の地域づくり団体への参加者数 / 総合計画における同目標数)×市町村の共同処理事務数×(市町村の共同処理事務数 / 広域行政組織数)×(構成市町村数 / 広域行政組織数)

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

広域的な地域づくりを進めるうえでの大きな要因を指標式に導入

- ア 生活創造圏ビジョン推進の取組への参画者数が多いほど指標値が高くなる。
- イ 地域づくり団体への参加者数が多いほど指標値が高くなる。
- ウ 県内市町村間において共同処理する事務が多いほど、1つの広域行政組織において共同処理する事務が多いほど、1つの広域行政組織において構成する市町村数が多いほど指標値が高くなる。

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

各生活創造圏における多様な主体による自主的・自立的な地域づくりの取組が充実されていく。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価 前年度に行った内容と成果

(内容)

- ・市町村の先見性・創造性ある事業、広域連携事業への支援
- ・生活創造圏ビジョンの策定
- ・広域連合に対する支援
- ・広域行政に関する啓発研究事業の実施(講演会、研究会、パンフレットの配付など)
- ・地域づくり団体の交流会の開催 等

(成果)

- ・地域課題を踏まえた個性ある事業が展開されている。
- ・市町村の広域連携の取組が推進されてきている。
- ・生活創造圏ビジョンの策定により各生活創造圏における圏域づくりのうえでの共通目標が明確に なった。
- ・地域づくり団体間の交流が推進されてきている。

前年度に残った課題

- ・市町村の広域連携の一層の推進
- ・生活創造圏ビジョンの実現

4-(2)本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価 本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

(内容)

- ・市町村の先見性・創造性ある事業、広域連携事業への支援
- ・生活創造圏ビジョンの協働による推進
- ・広域連合に対する支援
- ・広域行政に関する啓発研究事業の実施(講演会、研究会、パンフレットの配付など)
- ・地域づくり団体の交流会の開催 等
- ・市町村の合併の推進についての要綱策定

(成果)

- ・地域課題を踏まえた個性ある事業の推進
- ・市町村の広域連携の取組の推進
- ・生活創造圏ビジョン推進組織の設置及び具体的な取組の推進
- ・地域づくり団体間の交流の推進
- ・市町村の合併の推進についての要綱策定

本年度残ると思われる課題

- ・生活創造圏ビジョン推進の取組のさらなる展開と市町村の役割
- ・市町村の広域連携の一層の推進
- ・市町村合併に関する情報提供と議論の場の創設の一層の促進

5 基本事務事業の改革方向

- ・自主的な市町村合併に対する支援の実施
- ・多様な主体の協働による地域づくりのための住民意識啓発 等が新たに必要となる。

	成		総合計画	予算額等 (千円)	必要概算	
	目標	実績	目標数値	所要時間(時間)	コスト (千円)	
前々年度 (H10 <i>年度</i>)	1,079	109 × (109/ 76) × (540/76) = 1,111	地域づくり団体 への参加者数 6,602 / 7,000	1,239,134 43,373	1,420,434	
前年度 (H11 <i>年度</i>)	1, 196	117 × (117/ 80) × (561/80) = 1,200	6,922 / 7,000	1,557,092 39,065	1,720,384	
<i>本年度</i> (H12 <i>年度</i>)	1 ,215	119 × (119/ 85) × (605/85) = 1,186	9,690 / 7,000	1,595,856 55,940	1,830,245	
本年度補正後 (H12 <i>年度</i>)				+(or) +(or)	+(or)	
翌年度 (H13 <i>年度</i>) 新指標	1,962 1.1 × 1 . 4 (= 9,800/7,000) × 1,274(= 119 × (119/82) × (605 /82)		(目標) 9,800 / 7,000	1,530,499 65,103	1,803,282	
<i>計画目標年次</i> (H <i>年度</i>)						

基本事務事業名: 4/5

7 翌年度(H1 3年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: ProjectPortfolioMatrix)

〈必要概算コスト: ☆5億円以上 ◎~1億円 ◇~5千万 △~1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉



基本事務事業名:

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (± 千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (± 時間)
生活創造圏づくり 推進事業 (地域振興課)	個性ある豊かな生活 創造圏の推進度	・生活創造圏づくりに資する市町村事業等への補助 ・生活創造圏ビジョンの推進 等	603,623	100,000	43,453	0
	広域行政導入度	・広域行政の必要性の啓発 ・広域連合など広域行政体制整備への補助	888,577	21,734	15,490	3,201
みえみらい地域づく り事業 (生活課)	地域づくり団体育成 度	・みえ地域づくり団体交流会議の運営 ・地域づくり研修交流会「仕事人交流会」の開催など	2,131	259	800	400
全国ふるさとづくり 広報事業 (地域振興課)	全国ふるさとづくり 広報事業応募数増加度	・全国ふるさとづくり事例を全国ネットワークの広報番組 で放映	21,000	2,000	200	200
近畿自動車道紀勢線・ 紀勢IC付近における 広域連携拠点整備等 検討事業 (南勢志摩県民局)	広域連携推進度	・近畿自動車道紀勢線 勢和多気JCT〜紀勢IC間の開通 に伴う地域の影響予測調査及び対応すべき施策の検討等	9,861	皆	4,160	皆増
生活創造圏づくり 「地域価値」創出事業 (松阪地方県民局)	地域価値創出度	・日本経営品質賞講演会・研修会及び産学官交流・異業種 間交流会の開催等	5,307	皆増	1,000	i 皆増
各種団体負担金 ((財)地域活性化セン ター、全国地域づく り推進協議会、小さ な世界都市連合推進 協議会) (地域振興課)	対象外事業	・地域のまちづくり、産業おこし等の推進・情報発信や 地域間交流の促進のため関係団体に参加する経費(負担 金)	2,220	0	200	0